

常磐文藝

泥棒の告白

生田耕人

俺は泥棒だ
俺は或る時
お寺へ盗みには入つてゐた
法主も誰もわやしない
俺は燭臺に火を點けて
そして壁を見つめてゐた
何と古い壁だらう
壁書も何も有りやしない
黙つて壁を見つめてゐた
お、此れは何とお
そろしい壁だ
凄いや俺れを見つめて
居つたのだ
俺は急いで火を消した
金の燭臺を盗んでそこへ
出た
そこは真に静かである
俺は空を仰いで見た
お、此れは何とた
そろしい空だらう
星の目玉がにらんでゐる
数多の目玉がにらんでゐる
俺はそこへ盗んだ物を
投げすてゝ
森の中へ隠れこんだ
星の眼も見わはしない
お、た、こゝでも木々
が見つめてゐる
おそろしい
駄目だ
俺はどこへかくれら
れぬ
(神様、俺れの罪をゆる
して下さい)
俺ははじめて祈つたのだ
そこで生れて始めて祈つ
たのだ

高等西洋御料理仕出し

松島名産

力キ貝 御料理
カキ フライ
カキ 刺し
カキ 焼
品々 なべ

一の井

電話一六七番

祝發刊

御料理

谷口樓

平町二丁目横町
電話八番

謹告

今回常磐毎日新聞社經營の爲めいは
らき新聞社平支局を退きましたか同
社在勤中一方ならぬ御配慮を辱ふし
ました大方諸彦に對し厚く御禮申上
ます、今後は微力を以て此難事業に
身を處し粉骨碎身諸彦の御愛顧に報
ゆべき覺悟で御座いますから何卒倍
舊の御援助を賜り度く懇願致します
右は拜趨御挨拶申上ぐべきの處創
業早々の事にて繁忙裡に没頭して居
りますから略儀ながら紙上を以つて
謹告致します
小鳥川崎文治

祝發刊

平藝妓屋組合

- 玉川 一六八番
谷口 八番
甲子 四番
三好家 三五〇番
久本 二〇九番
山形家 二七番
二葉家 一六四番
橘 一〇二番
竹之家 七三番
三島家 二二番
吉野家 二六〇番
開花亭 二五〇番
湖月 二四五番
仲家 一五二番
福清 四三三番
品澤 三三〇番
林家 二一六番
富美の家 一五三番
米京 一九番
野口 三五四番

定 一部金貳錢 月極
二限リ一ヶ月卅錢

料告廣

五號十三字詰
一行千十錢

日刊休

日曜、大祭

祝日ノ翌日

所刷印

福島縣石城郡平町

田町十六番地

築城新聞社

發行兼

編輯人

川崎文治

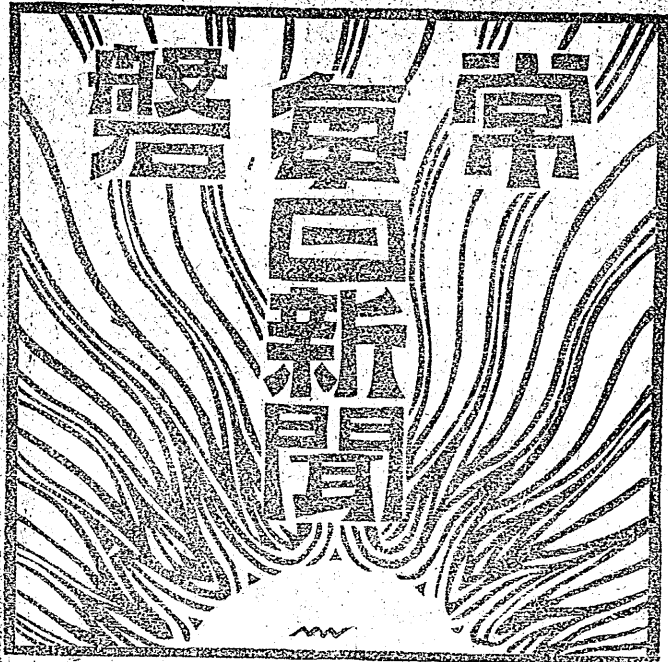
印刷人

福島縣石城郡平町

字長崎町五番地

常磐毎日新聞社

(一) 可読物種第三日十月一十年二十正大



刊夕日七十月一十

貧者の致富論 (下)

中山雅司

斯く昔ですら第一人者とな
るだけの人物は金を大切に
に貯へこれが運用に意を要
したものであるまして今の
世は金が物言ふ世の中であ
る
武士は喰はねど高橋子と
すまして居つた時代ではへ
裏面では斯く金の威力があ
つたではないか、況んや今
は人間の一番尊い人格すら
金がなくてはこれを満足に
保つて行かれない世中であ
る、一度金さへ獲る事が出

來たならば凡ての欲望は實

に意の儘である、而し世に
金儲けほど難かしいものが
ない本來金を使ふべき人間
が金に使はれて常に心身を
勞し苦勞の絶え間がない、
最も富で能く散ずるを識ら
ざるの人は財物の奴隷で慾
氣に亂れるといふ醜の極だ
敢て子孫の爲めに美田を買
ふと言ふ心掛けよりは現在
に於て生きんとするに愈々
以て金を獲る必要ありだ、
つまり利慾の上から金が必
要でなく自己の生存に必要
とまた權威や体面を保持す
る上に於て必らず相當の金
を蓄へて置かなければなら

ぬものだ、是れを我輩の信

條として精々睡して集めん
と欲した所以である
然し大富は天にあり小富
は人にありで大きな富は人
力以外の運命が授けてくれ
るもので小さい富は人間の
□募集 文藝其他一般
投稿を歓迎します
考へ次第で出来るものとな
つて居るから、自力で金を
造つてそれを處世の標準生
活の程度と心得それ以上は
運命だ、いはゆる生前に富
を得て死後に名を得るとい
ふ遣り方は今の時世で殆ど
兩立しない(終)

佐瀬選挙長の

公平なる裁断に依り

問題の投票總べて決定

澤渡佐藤は僅かに五票

政憲兩派互に猛運動を極めた石城郡第四區縣議選。結果は既記の如く當選。榮冠は遂に中立候補者草野順平氏の頭上に冠せられる事となつたが總投票数は三千七百九十九票にして其内有効三千七百六十票、無効廿九票、棄権二百八十三票を數へ草野順平氏の得票二千八十二票、佐藤庄太郎氏、得票千六百七十二票、澤渡村佐藤

草野氏は當選を承諾

憲派と歩調を共にせず

飽迄も厳正中立を標榜

草野順平氏最高點なる爲め佐瀬選挙長は昨日午後五時半選挙會終了後直ちに當選告知書を發し折返へして草野氏からの當選承諾書が午後六時郡衙に到着した是れに依つて今後の草野氏の肩書には警備銀行支配人の外に縣會議員の一行を増した事となつたが今後議員としての行動は政黨離れな同氏の事でもあるから應援を受けて悪縁はついたらと云ふものゝ憲派とは歩調を共にせず断然獨立獨立歩縣民の代表として所信を貫徹すべき厳正中立を標榜する事となるであらうと傳へられて居る

獅子吼

登壇者の氏名

石城郡神谷辯論研究會にて廿三日午前九時より聚樂館に於て郡下學生青年聯合會雄辯大會を開催し左記辯士の獅子吼の如き

國史教授研究

石城郡第二區方部教育研究會は廿日午前十一時より江名小學校にて開會し尋常五年生の國史教授と研究する由

信榮音樂會

廿四日平館で

既報中町材木町バブテスト郡内信榮幼稚園の基金募集音樂會は廿四日午後一時より平館にて開催すべく決定した

中島訓導退職

石城郡内訓導高等小學校訓導中島由八氏は去る十四日附病氣退職せる爲め疾病療治料三圓支給さる

相談所に十圓

石城郡小名濱町石工組合長貝沼丑太郎氏は平人事相談所に金十圓を寄附した

工場位置

嚴格なる

既報本月六日發布された工場取締規則に基き伊藤中署長は左の如く語つた「工場より發する騒音震動の爲めに其附近の學校、官公署、病院等の静穩を害せられ又は有害瓦斯臭、粉末等の

掠奪團山口正憲一味の

怪婦植田在て捉る

姉の家で潜伏中を

荒くれ男の巨魁 梁瀨歩したが遂に捉へられ強盜罪に依り横濱地方裁

判所古松判事係りて豫審中の立憲労働黨總理山口正憲の首魁とし鬼神のた松にも譬ふべき怪婦植田ひさの(四〇)は其後神出鬼没行術を極まし所轄神奈川縣刑事課に於て八方嚴探中の處去る十三日石城郡植田在なる實姉冬野方に潜伏中なりし事を植田警察分署にて突

明日休刊

池巢飼への

二人で盗む

石城郡泉村大字瀧尻字前垣吉田正龜(三三)同郡小名濱町字千疊敷關清(三二)の兩名は共謀し去月十六日午後十二時頃藤原川に於て小名濱吉田善藏が池巢飼として飼つて置いた鰻四貫五百匁(代金廿二圓五十錢)を窃取したる事發覺中署にて島田警部補取調への上本日書類を檢車局に送らる

山警察資料

平署にては山林警察の確立を期さんが爲め、參考資料を蒐集せんと全國林區署其他山林關係官廳に照會發す

少女誘拐告訴

石城郡好間村大字上好間字南町田居住同郡高久村生れ旅人宿業久吉妻志賀ハル(四五)は本年三月宮城縣伊具郡勝田町川村ツル(五六)中野チャウ(四七)の兩名と共謀し同町淺見ハツ(一七)柴崎シン(一七)の兩名を誘拐せりと平署に告訴さる

火防組合發會

石城郡赤井村江田山林火防組合にては明日午前十一時から發會式を擧げた

常磐片々

平町とも澤渡村とも肩書を附せない佐藤庄太郎の投票九十四票か選挙會物議の種

憲派立會人は無効だと頑ん張る

九十四票が佐藤庄太郎氏の得票となつた處で當落に關係がないのに何故度量を示されないのだ

寧ろ因念を付けずにサラリと呉れて遣つた方が社會の同情を増す

黨派根性をこんな解つた條理迄擔ぎ出すのは業さらしと云ふべし

流石に佐瀬郡長、刀兩斷的裁決に依つて是れを決す

始めてスゴく引き下つた憲派立會人は何んど云ふ醜さだ

選挙戦で騒ぎ廻つて居た石城郡に掠奪團の怪婦がコソソリ潜み込む

平署が山林警察の參考資料を全國から蒐む整理中に日

詔書捧讀式

平第一

第二兩小學校にては本日午前九時より去る十日煥發された詔書の捧讀式を舉行し尙ほ詔書寫を各兒童に配附

平裁判だより

●女の眼を殴る 双葉郡廣野村大字下淺見川字築地木炭商岡田周三郎(二四)は本年四月十九日平町字五丁目窪田ナツの左眼を殴り缺席にて科料十圓

●丸太を喰はす 同郡幾世橋村大字北幾世橋字原出遠藤勉(二六)は本年十月廿一

日丸太にて田中巳之松を殴りし負傷せしめ略式にて罰金廿圓

●火藥窃盜懲役 平刑務支所在監人仙臺市生れ小林録(三三)が本年三月廿二日の夜仙臺市火藥商近藤勝兒の火藥庫から雷管七千百個を盗み汽車に乗つて湯本驛に下車し同爆藥を湯本トシネル本線内に埋没せる事件は昨日福島地方裁判所中支部にて懲役三年六ヶ月

●炭礦へ放火す 双葉郡廣野村大字上淺見川字蛇木高倉炭礦坑夫茨城縣生れ成神仁藏(三二)同坑夫耶麻郡出れ三瓶與作(二二)が淺見川

炭礦の通風坑に放水せんとせる放火事件は各々同懲役二年半言渡さる

●惡朝鮮人懲役 住所不定朝鮮人西山藤太郎事金鐘浩(二七)は石城郡江名町瀧田廣吉方より印半鰻外五點を盗み金側懷中時計を騙取して懲役六月

平町人事

△出生 鈴木義角四男壽

△白銀町 杉山權兵衛四男

△死 吉田幾三郎孫キ

△新川町 本田平兵衛孫愛子(二二)